2026年12月期　第４四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　株式会社プレイド　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4165　　URL　https://plaid.co.jp/
代　　表　　者　　(役職名)代表取締役執行役員CEO　　(氏名)倉橋　健太
問合せ先責任者　　(役職名)執行役員CFO　　(氏名)辻　高宏　　(TEL)03 4405 7597

配当支払開始予定日ー
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第４四半期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第４四半期	16,407	22.5	1,521	△6.8	1,246	△12.9	1,107	△19.8	451	△59.0
2025年９月期	13,396	21.9	1,632	218.2	1,431	448.8	1,380	648.6	1,099	242.7

(注) １．包括利益 2026年12月期第４四半期 409百万円(△64.6%)　　2025年９月期　1,155百万円(606.3%)
２．調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋株式報酬費用＋その他一時費用

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第４四半期	11.00	10.95
2025年９月期	26.99	26.63

(注)当連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、通期については、当社は2025年10月１日から2026年12月31日までの15ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第４四半期	12,309	4,365	34.8
2025年９月期	9,648	4,812	49.3

(参考) 自己資本 2026年12月期第４四半期　4,286百万円　　2025年９月期　4,756百万円

２．配当の状況

	年間配当金					
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	第４四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年９月期	ー	0.00	ー	ー	0.00	0.00
2026年12月期	ー	0.00	ー	ー		
2026年12月期(予想)					0.00	0.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2025年10月１日～2026年12月31日）

2026年12月期においては、投資対効果および市場環境を踏まえた機動的な成長投資を実行いたします。特に採用進捗によっては通期業績が大きく変動する可能性があるため、通期損益見通しは変動するリスクを内包しております。

当社は、業績見通しの透明性向上の観点から、通期損益見通しに加え、翌四半期の損益見通しを開示してまいりました。2026年12月期は決算期変更により、2025年10月1日から2026年12月31日までの15ヶ月間となり、第４四半期の翌四半期（第５四半期）が通期の最終四半期にあたります。このため、翌四半期の損益見通しは通期の業績予想に包含されることから、本資料では通期の業績予想のみを開示いたします。

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期（第５四半期累計）	20,800	―	1,900	―	1,600	―	1,400	―	600	―	14.62

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

２．調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋株式報酬費用＋その他一時費用

３．当連結会計年度は決算期変更のため、2025年10月１日から2026年12月31日までの15ヶ月間となっております。このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　１社（社名）　株式会社CloudFit 、除外　ー社（社名）　ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期４Ｑ	41,280,663株	2025年９月期	41,154,591株
②　期末自己株式数	2026年12月期４Ｑ	907,461株	2025年９月期	174,625株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期４Ｑ	40,991,494株	2025年９月期	40,728,060株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（四半期連結損益計算書） …… 6
（第４四半期連結累計期間） …… 6
（四半期連結包括利益計算書） …… 7
（第４四半期連結累計期間） …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当連結会計年度は決算期変更に伴い、2025年10月１日から2026年12月31日までの15ヶ月間の変則決算となっております。当第４四半期連結累計期間は2025年10月１日から2026年９月30日までの12ヶ月間であり、前連結会計年度（2025年９月期、2024年10月１日から2025年９月30日までの12ヶ月間）との比較を記載しております。

当社グループは「データによって人の価値を最大化する」をミッションに掲げ、世の中に溢れる様々なデータを生活者(注１)にとって価値あるものとして還元し、豊かな体験を流通させることを目的に、当社の提供するCX(注２)(顧客体験)プラットフォーム「KARTE」をウェブサイトやスマートフォンアプリを運営する企業に向けて、クラウド方式(注３)で提供しております。

ショッピングや旅行、金融など様々なサービスがインターネットを介して提供されるようになった今、生活者が企業にもとめることは、「自宅にいながら買い物できる」「予約できる」といった単なる利便性だけではなく、自分の興味や状態に合った最適な提案を受けられる良質なコミュニケーションやその先の体験へとシフトしていると当社グループは考えております。

一方で、企業がそれに応えるためには、データの蓄積、統合、分析を通じて一人ひとりの状態を正しく理解し、それに基づいて適切なコミュニケーションを図る、あるいはウェブサイトやスマートフォンアプリをパーソナライズさせる仕組みを構築する必要がありますが、これらの取り組みは企業にとって複雑で難易度の高いものとなっているのが現状です。

企業は「KARTE」を活用することにより、ウェブサイトやスマートフォンアプリ上のリアルタイム行動データを中心とする様々なデータを、ユーザー単位で解析することができます。それによって、一人ひとりの興味や状態が可視化され、ユーザーをPV(注４)やUU(注５)といった塊の「数字」としてだけではなく、一人の「人」として理解しやすくなると当社グループは考えております。その上で企業は、「KARTE」内で一人ひとりの興味や状態に合わせた多様なコミュニケーション施策を実施し、その結果を検証することなどができます。

顧客体験向上やデータ活用に対する企業の関心が高まる中、「KARTE」はウェブサイトやスマートフォンアプリ上のマーケティング領域に留まらず、カスタマーサポート領域など様々な企業活動において活用いただいております。今後も「KARTE」の機能強化や各種プロダクトの提供を通じて、企業が統合的にユーザーを理解できるデータ環境の拡充を進めていきます。

当第４四半期連結累計期間においては、エンタープライズを中心とする顧客企業との取引拡大やAI活用による成長加速に向けた人材採用、組織強化を積極的に行っております。

これらの活動の結果、プロダクトとプロフェッショナルサービスの同時提供により企業を包括的に支援する大型取引が増加しているほか、当社の顧客データ基盤の提供価値を向上させるAIエージェント開発等も順調に進展しており、持続的な成長に向けた事業基盤が構築されてきております。

この結果、当第４四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は16,407,437千円(前連結会計年度比22.5%増)、営業利益は1,246,858千円(前年同期は営業利益1,431,874千円)、経常利益は1,107,132千円(前年同期は経常利益1,380,506千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は451,079千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,099,057千円)となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（注１） 世の中一般の不特定多数の人々を「生活者」、企業が商品・サービスを提供する相手を「ユーザー」と表記しております。

（注２） Customer Experience(カスタマーエクスペリエンス)の略語であり、一般的に「顧客体験」と訳されますが、顧客がよいと感じられる体験、つまり「顧客が体験して得られる価値」までも含めて定義しております。

（注３） クラウドコンピューティングの略語であり、ソフトウェア等のシステムをインターネット経由でサービス提供することを前提とした仕組みの総称であります。

（注４） Page View(ページビュー)の略語であり、ウェブサイト内の特定ページが開かれた回数を表し、ウェブサイトがどのくらい閲覧されているかを測るための指標の一つです。

（注５） Unique User(ユニークユーザー)の略語であり、特定の集計期間内にウェブサイト又はスマートフォンアプリに訪問したユーザーの数を表す数値です。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第４四半期連結会計期間末における流動資産は10,258,825千円となり、前連結会計年度末に比べ1,932,916千円増加いたしました。これは主に売掛金が367,339千円増加及び現金及び預金が1,530,115千円増加したことによるものであります。固定資産は2,050,228千円となり、前連結会計年度末に比べ727,163千円増加いたしました。これは主にのれん541,311千円、投資有価証券が269,551千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は12,309,053千円となり、前連結会計年度末に比べ2,660,080千円増加いたしました。

（負債）

当第４四半期連結会計期間末における流動負債は5,332,221千円となり、前連結会計年度末に比べ1,707,871千円増加いたしました。これは主に契約負債が630,256千円及び１年内返済予定の長期借入金が601,586千円増加したことによるものであります。固定負債は2,611,814千円となり、前連結会計年度末に比べ1,399,546千円増加いたしました。これは長期借入金が1,399,546千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,944,035千円となり、前連結会計年度末に比べ3,107,417千円増加いたしました。

（純資産）

当第４四半期連結会計期間末における純資産合計は4,365,018千円となり、前連結会計年度末に比べ447,337千円減少いたしました。これは主に、自己株式が500,005千円増加したこと、及び連結子会社株式の追加取得に伴いその他資本剰余金が472,670千円減少したことによるものであります。

なお、第14期定時株主総会の決議に基づき、資本準備金5,314,480千円をその他資本剰余金へ振り替えを行いました。また、2026年８月13日開催の取締役会の決議に基づき、その他資本剰余金3,459,873千円を繰越利益剰余金へ振り替え、繰越利益剰余金の欠損を填補いたしました。これらによる純資産合計に変動はありません。

この結果、自己資本比率は34.8%(前連結会計年度末は49.3%)となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想（第５四半期累計：2025年10月１日～2026年12月31日）につきましては、2026年８月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」における予想から変更しておりません。

当第４四半期連結累計期間（2025年10月１日～2026年９月30日）の連結業績は、売上高16,407,437千円、調整後営業利益1,521,734千円、営業利益1,246,858千円となり、いずれも前回発表予想（2026年８月13日公表）を上回りました。これは主に、プロダクト販売が順調に進んだことに加え、プロフェッショナルサービスが想定を上回って推移したことによるものであります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当第４四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,601,979	8,132,094
売掛金	1,317,103	1,684,443
前払費用	371,835	366,627
その他	45,867	86,864
貸倒引当金	△10,878	△11,203
流動資産合計	8,325,908	10,258,825
固定資産		
有形固定資産		
建物	26,227	27,697
減価償却累計額	△26,227	△26,276
建物（純額）	0	1,420
工具、器具及び備品	226,156	192,304
減価償却累計額	△173,869	△156,072
工具、器具及び備品（純額）	52,287	36,231
機械及び装置	696	696
減価償却累計額	△696	△696
機械及び装置（純額）	0	0
有形固定資産合計	52,287	37,652
無形固定資産		
ソフトウエア	57,564	45,856
のれん	109,796	651,107
無形固定資産合計	167,361	696,964
投資その他の資産		
投資有価証券	338,961	608,513
破産更生債権等	13,192	13,931
敷金及び保証金	285,228	487,438
繰延税金資産	455,398	212,147
その他	23,828	7,512
貸倒引当金	△13,192	△13,931
投資その他の資産合計	1,103,416	1,315,611
固定資産合計	1,323,064	2,050,228
資産合計	9,648,973	12,309,053
負債の部		
流動負債		
買掛金	917	2,385
短期借入金	―	200,000
１年内返済予定の長期借入金	608,758	1,210,344
未払金	866,500	1,135,835
未払法人税等	258,220	174,698
契約負債	1,062,558	1,692,814
受注損失引当金	79,807	69,693
その他	747,588	846,450
流動負債合計	3,624,349	5,332,221
固定負債		
長期借入金	1,212,268	2,611,814
固定負債合計	1,212,268	2,611,814
負債合計	4,836,617	7,944,035

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当第４四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,184,693	3,219,135
新株式申込証拠金	－	1,800
資本剰余金	5,547,991	1,649,889
利益剰余金	△4,004,801	△97,961
自己株式	△514	△500,519
株主資本合計	4,727,369	4,272,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,709	4,149
繰延ヘッジ損益	12,578	10,053
その他の包括利益累計額合計	29,287	14,203
新株予約権	29,246	78,470
非支配株主持分	26,452	－
純資産合計	4,812,355	4,365,018
負債純資産合計	9,648,973	12,309,053

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第４四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第４四半期連結累計期間 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	16,407,437
売上原価	4,410,002
売上総利益	11,997,434
販売費及び一般管理費	10,750,575
営業利益	1,246,858
営業外収益	
受取利息	19,399
受取手数料	7,836
ポイント還元収入	5,530
その他	745
営業外収益合計	33,512
営業外費用	
支払利息	91,729
為替差損	8,407
支払手数料	999
その他	72,100
営業外費用合計	173,238
経常利益	1,107,132
特別利益	
固定資産売却益	7,756
固定資産受贈益	2,598
特別利益合計	10,354
特別損失	
減損損失	78,961
固定資産除却損	0
投資有価証券評価損	50,108
特別損失合計	129,069
税金等調整前四半期純利益	988,417
法人税、住民税及び事業税	311,937
法人税等調整額	251,853
法人税等合計	563,790
四半期純利益	424,626
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△26,452
親会社株主に帰属する四半期純利益	451,079

（四半期連結包括利益計算書）

（第４四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第４四半期連結累計期間 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	424,626
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△12,559
繰延ヘッジ損益	△2,525
その他の包括利益合計	△15,084
四半期包括利益	409,542
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	435,994
非支配株主に係る四半期包括利益	△26,452

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（剰余金の処分）

当社は、2026年８月13日開催の取締役会において、繰越利益剰余金の欠損を填補し、今後の資本政策の柔軟性と機動性を向上させるとともに、財務体質の健全化を図ることを目的として、剰余金の処分を決議し、同日付で処分を実施いたしました。

この結果、当第４四半期連結会計期間末において資本剰余金1,649,889千円、利益剰余金が△97,961千円となっております。

（自己株式の取得）

当社は、2026年８月13日開催の取締役会において、会社法第459条第１項の規定による当社定款の規定に基づき、自己株式の取得を行うことを決議し、自己株式713,500株の取得を行いました。

これらの結果、当第４四半期連結累計期間において、自己株式が500,005千円増加し、当第4四半期連結会計期間末において、自己株式が500,519千円となりました。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループはSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第４四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第４四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第４四半期連結累計期間 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	62,773千円
のれんの償却額	135,270

（重要な後発事象）

（譲渡制限付株式としての自己株式の処分）

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、以下のとおり、執行役員に対する譲渡制限付株式としての自己株式の処分を行うことについて決議いたしました。

１．処分の概要

(1) 払込期日	2026年12月11日
(2) 処分する株式の種類及び株式数	当社普通株式　280,100株
(3) 処分価額	１株につき738円
(4) 処分価額の総額	206,713,800円
(5) 割当予定先	当社の執行役員10名　280,100株

２．処分の目的及び理由

当社は、当社グループの企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）に基づき、所定の要件を満たす当社の執行役員10名（以下「対象役職員」といいます。）に対して金銭債権の現物出資と引き換えに、本自己株式処分として当社の普通株式280,100株（以下「本割当株式」といいます。）を付与することを決議いたしました。また、中長期的かつ継続的な勤務を促す観点から、本割当株式には譲渡制限を設けることとし、その期間は当社取締役会が定める期間といたしました。

対象役職員は、支給された金銭債権の全部を現物出資財産として払込み、当社が本自己株式処分により割り当てる普通株式を引き受けることとなります。

なお、本割当株式は、引受けを希望する対象役職員に対してのみ割り当てることとなります。